

# 志津見ダム

し

つ

み

国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所

## 志津見ダムの目的

志津見ダムには次のような目的があります。

### 洪水調節

志津見ダム建設地点における計画高水流量1,400m<sup>3</sup>/sのうち、900m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行い、神戸川の洪水のピークを低減するとともに、斐伊川放水路とあわせて斐伊川下流部の洪水を低減します。

### 河川環境の保全

ダム下流で利用されている用水を安定的に供給するとともに、河川に生息・生育する動物・植物の保護のために必要な水を流します。

### 工業用水の供給

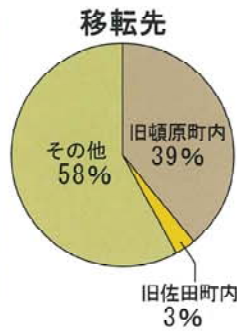
島根県に対し、馬木地点において工業用水として、新たに日量10,000m<sup>3</sup>の取水を可能とします。

### 発電

志津見ダムの建設に伴って、島根県が新設する発電所において、最大出力1,700kwの発電を行います。

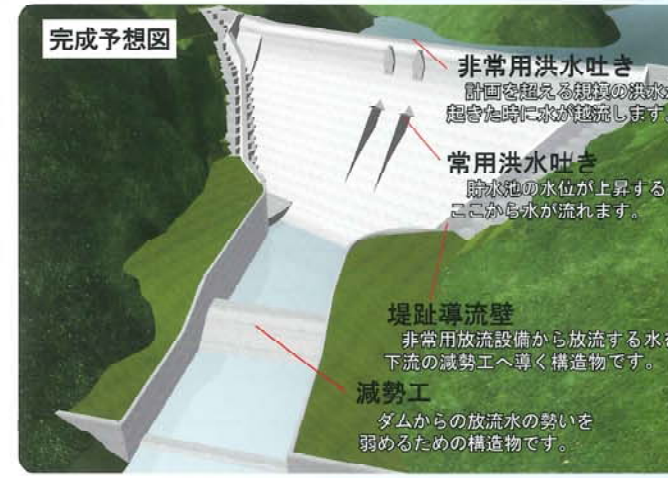
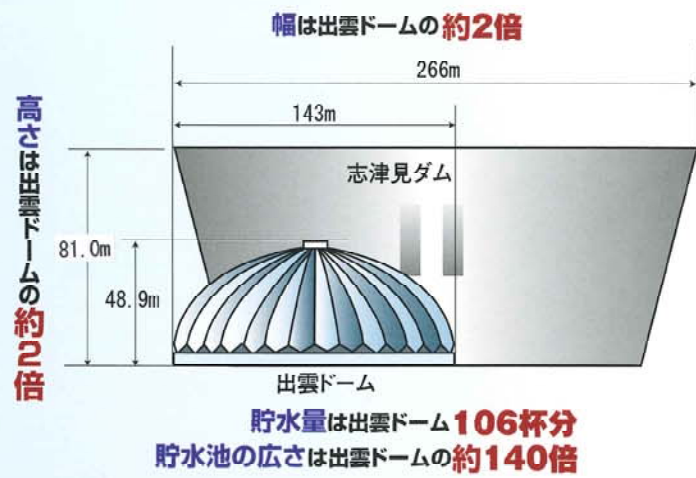
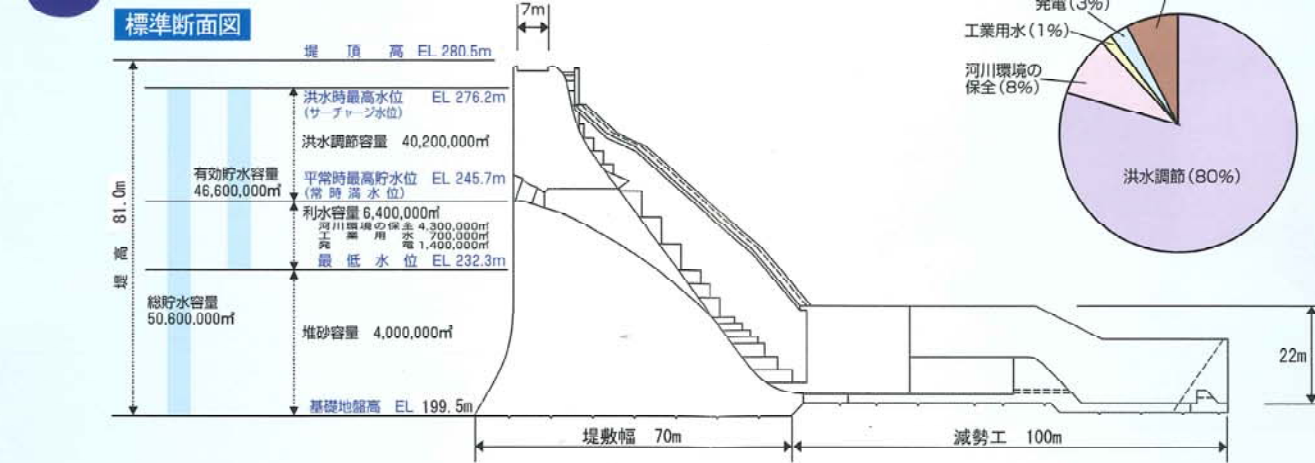
## 補償関係

補償関係	
移転家屋	97戸
宅地	8.5ha
畑	69.0ha
山林	283.0ha
原野・その他	19.6ha
道路	約24.5km



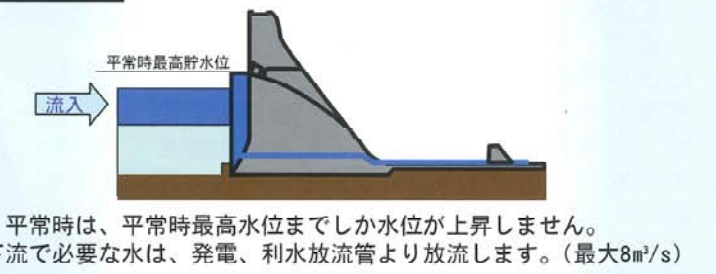
## 志津見ダムの大きさ・かたち

### 貯水池容量配分図とダムの構造

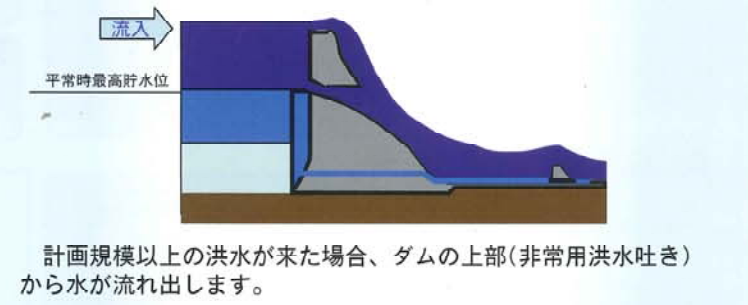
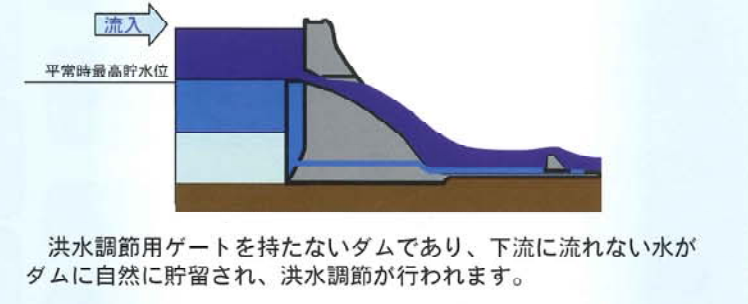
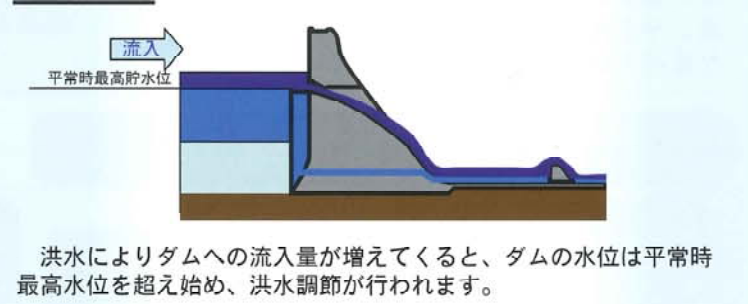


## 志津見ダムの放流の仕組み

### 平常時



### 洪水時



### 上流面図



この地図は、国土院発行の5万分の1地形図を使用したものである。

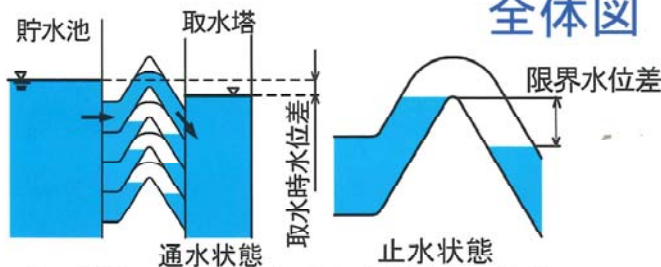
# 志津見ダムの取水・放流設備

## ●連続サイフォン式取水設備

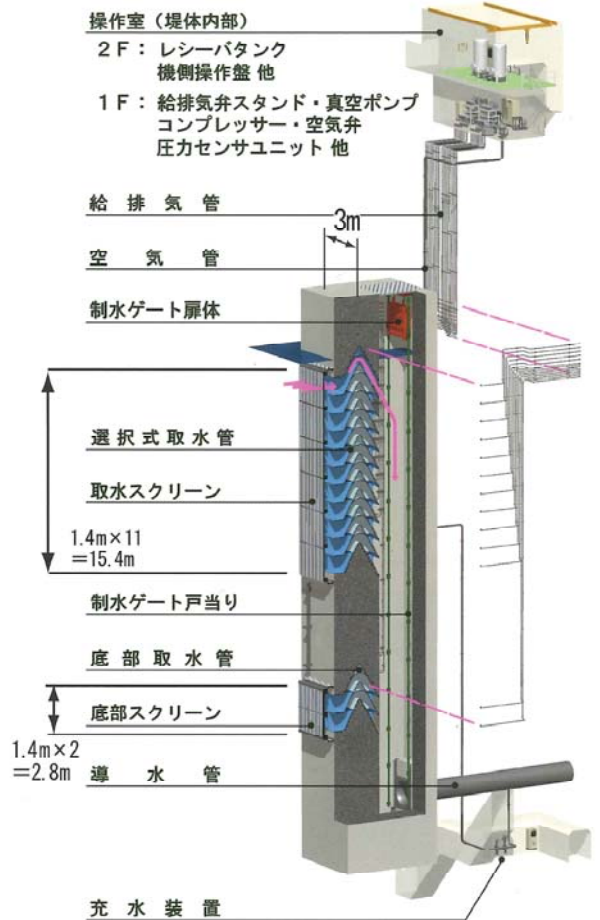
連続サイフォン式取水設備とは、空気によって止水を行う新しいタイプの選択取水設備です。

従来のような鋼製ゲートや開閉装置は存在せず、連続的に配置された逆V字管の頂部に空気を出し入れすることで開閉を行います。

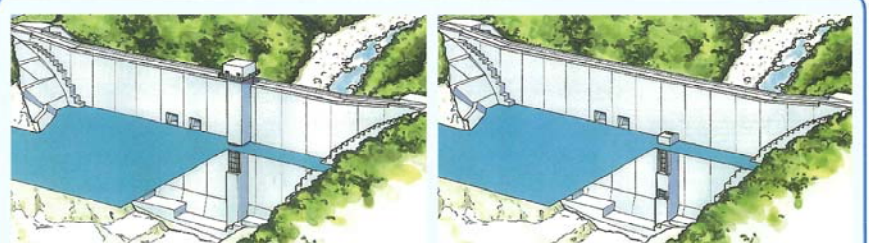
この設備を用いることにより、通常用いられる多段式選択取水ゲートよりも維持管理を省力化できるとともに、鋼材・制御装置等の費用が抑えられるため、コスト縮減が図られます。



逆V字管に空気を入れると水が出なくなり、抜くと水が流れます。



志津見ダムの連続サイフォン式取水設備の一部



多段式選択取水ゲートの例

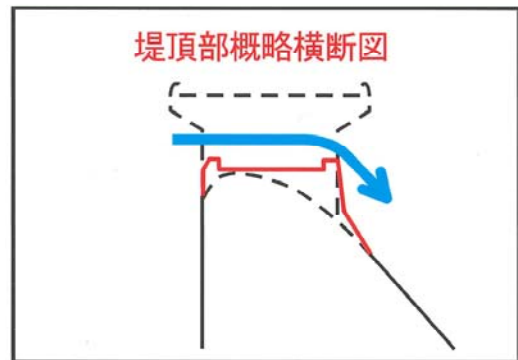
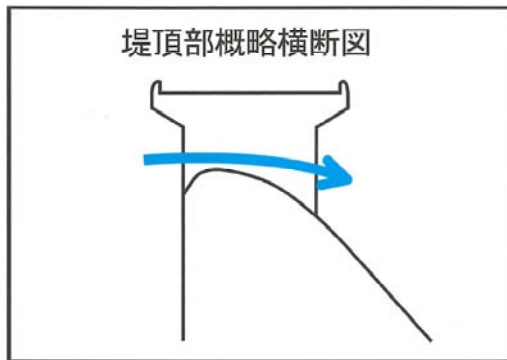
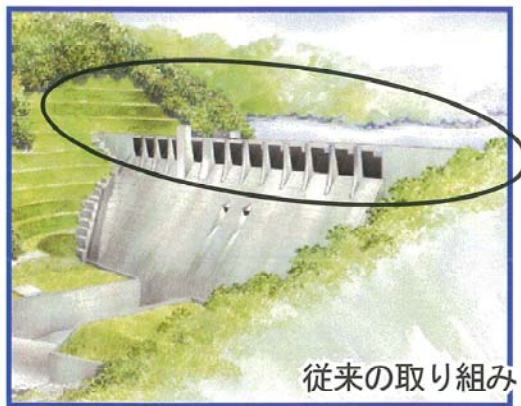
連続サイフォン式取水設備の例  
(操作室は堤内に配置)

連続サイフォン式の場合、取水管と操作室は給排気管のみで接続されるため、ワイヤーロープ式のような制約を受けず、操作室は自由に配置することができます。

さらに、空気制御装置はワイヤーロープ巻上げ機に比べ小型なため、操作室も小さくできます。

## ●堤頂構造の簡素化

志津見ダムにおいては、山林保全制度の適用および洪水の調節方式が自然調節方式（ゲートレスダム）であることから、堤高を自然越流頂と一致させ、管理用通路として利用可能な形状とすることで、管理橋を簡素化することができ、工期の短縮やコスト縮減が図られます。



## ※山林保全措置制度について

### ●山林保全措置制度の概要

本制度は、経済的なダム事業の推進を図ることを目的に、平成12年度新たに創設されたもので、付替道路建設に代えて、地方公共団体が、付替道路に係る範囲のダム湖周辺の山林を公有化し、適切な保全を図る制度であり、ダム事業者は、付替道路建設費の範囲でその費用を負担するものです。

志津見ダムでは付替林道3路線で山林保全制度を適用し、これにより堤頂構造を簡素化することができました。



### ●山林保全措置制度の効果

本制度の活用による効果としては、付替道路の施工が不要になることにより、建設事業費の縮減や事業工程の短縮が見込め、更に周辺山林が適切に保全されることから山地の崩壊が防止できダム管理費も縮減できるなど、コストの縮減を図ることができます。また、環境面においても、ダム湖周辺に自然環境が多く残ることにより、ダム湖の景観や水質の保全が図れて、生物の生息環境の保全などの効果もあります。

# 志津見ダムの定礎石

平成19年5月27日（日）に、ダムの基礎が立ち上がったことを記念するとともに、ダム本体の本格的な築造に際し、礎石をそなえてダムの永久堅固と安泰を願う定礎式が執り行われました。

志津見ダムでは、他のダムではなかなか見当たらない、特徴的な礎石を埋納しています。

通常、ダムの定礎石には、発注者の代表により揮毫（きごう）された「定礎」という言葉がそのまま刻まれることが多いのですが、志津見ダムでは、地元の明るい未来を担う飯南町立志々小学校児童の、ダムへの想いや願いを込めた言葉、

「命の水 命のダム」「願い・豊かなくらし」が、児童の直筆により刻まれています。これらの言葉には、定礎式の祝辞において飯南町長が述べられたように、「正に飯南町民、ダム水没のためにこの土地を後にされた皆様方の思い」が込められています。



鎮定された定礎石



定礎式の様子（バケツ開放）

## 志津見ダム事業の経緯

昭和54年11月

「治水に関する基本計画」発表

斐伊川・神戸川水系の治水のためにどのような事業を行うかを、地域のみなさんにお知らせしました。

昭和61年4月

志津見ダム建設事業着手

ダム建設やそれに伴う生活再建に向けて本格的に事業が動き始めました。

昭和63年7月

「志津見ダムの建設に関する基本計画」の公示

志津見ダムの諸元、工期等の基本計画を公示しました。

平成元年9月

生活再建地の工事に着手

ダムを作ることによって水の中に沈んでしまう予定の地域に住む人たちに、代わりの生活地を提供するための、生活再建地の工事が始まりました。



平成2年9月

地元4地域と「志津見ダム建設に伴う損失補償基準協定書」に調印

志津見ダムを建設することで、地域のみなさんにとって不利益になることを、国土交通省がどのような形で補償するかの内容について合意しました。



平成3年9月～

国道184号付替道路工事に着手

志津見ダムができることによって、ルート変更しなければならない道路の付替工事を始めました。



平成元年度～

文化財などの調査

志津見ダムの周辺で、貴重な文化財の調査や自然環境の調査を行っています。



平成13年12月～

仮排水トンネル工事に着手

ダム本体工事を実施するために神戸川の流れを迂回させる仮排水トンネル工事を始めました。



平成16年6月～

ダム本体工事に着手

志津見ダム本体の工事を始めました。

平成18年3月に本体掘削が完了し、4月から本体コンクリートの打設を開始しました。（H21.3 打設完了）



平成19年5月

志津見ダム定礎

ダムの基礎が立ち上がったことを記念するとともに、ダムの本格的な築造に際し、礎石をそなえてダムの永久堅固と安泰を祈願しました。

平成21年度～

試験湛水

できあがったダムに水を貯めて、ダムの機能や周辺設備に異常がないかを点検します。

平成23年6月

**志津見ダム 完成**



くにびきくん

（志津見ダムのイメージキャラクター）

国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1  
ホームページ: <http://www1.cgr.mlit.go.jp/izumokasen>  
メールアドレス: izumo@cgr.mlit.go.jp

志津見ダム管理支所

【所在地】 〒690-3314 島根県飯石郡飯南町角井1891-20  
【電話番号】 0854-73-0222  
【FAX番号】 0854-73-0036

## 志津見ダム運用について

- 志津見ダムにおける平常時の放流量  
志津見ダム操作規則により

ダム直下において1. 7m<sup>3</sup>/sを下回らないように放流している。

神戸川馬木地点において「流水の正常な機能の維持のため必要な流量」として設定された水量が確保できるよう必要な量を放流している。

3月20日～9月30日 4. 4m<sup>3</sup>/s

10月1日～3月19日 3. 1m<sup>3</sup>/s

ダム地点、馬木地点の流量がそれぞれ下記の表に示す水量を下回る場合は貯水池に流入する流水を貯留してはならない(貯留制限流量)

ダム地点 2. 4m<sup>3</sup>/s

馬木地点 7. 0m<sup>3</sup>/s